

様式第1号

令和7年7月11日

岐阜県知事 殿

学校法人まこと学園

理事長 川口 隆弘

大学等における修学の支援に関する法律第3条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	ベルフォート美容専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-1
学長又は校長の氏名	校長 長尾 拓朗
設置者の名称	学校法人まこと学園
設置者の主たる事務所の所在地	岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-1
設置者の代表者の氏名	理事長 川口 隆弘
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://berufort.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点(☑)を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実に相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第3条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局・岩崎	058-267-4671	iwasaki@berufort.ac.jp
第2号の1	事務局・岩崎	058-267-4671	iwasaki@berufort.ac.jp
第2号の2	事務局・岩崎	058-267-4671	iwasaki@berufort.ac.jp
第2号の3	事務局・岩崎	058-267-4671	iwasaki@berufort.ac.jp
第2号の4	事務局・岩崎	058-267-4671	iwasaki@berufort.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☑）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ベルフォート美容専門学校
設置者名	学校法人まこと学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配 置 困 難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	1,020	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://berufort.ac.jp/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ベルフォート美容専門学校
設置者名	学校法人まこと学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://berufort.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	2025年6月13日～ 2027年6月12日	経営・財務
非常勤	会社員	2025年6月13日～ 2027年6月12日	経営・労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ベルフォート美容専門学校
設置者名	学校法人まこと学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

◎教育課程編成委員会(外部)、兼任教員(大学教員等)を含めた教務会議を実施し、次年度の授業計画やカリキュラム編成、国家試験合格に向けた取り組みについて協議している。

◎シラバスは各担当教員が科目ごとに作成し、進捗状況確認を適宜行っている。

◎授業編成は美容師養成施設指定規則のかかるカリキュラム編成を前提としつつ、学生の興味ある分野を専門的に学べるコース選択ができるようになっている。

◎作成した授業計画は全教員で共有し、入学希望者に対しては体験入学等学校説明会で、学生や保護者に対しては入学前ガイダンスで説明している。

授業計画書の公表方法 <https://berufort.ac.jp/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

◎学科・実技(実習)ともに学期末試験を実施している。単位認定にかかる合格ライン(60点:国家試験合格基準に準ずる)を定め、不合格者については再試験を実施している。

◎成績評価は毎学期末に期末試験の結果をもとに成績表を作成し、本人及び保護者へ通知している。成績表には出席状況及び遅刻早退回数や取得資格、また担任教員からの所見も記載している。

◎年度末(3学期)に、校長・教員による単位認定会議を実施し、履修の認定を行っている。認定基準は試験結果、出席状況をもとに一人ひとりの履修の認定を確認している。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

◎実技の成績は、国家試験基準及び各種検定合格基準をもとに、担当教員複数名による採点を実施。

◎各学生の成績の位置づけは試験結果に基づき、学年、科目ごとにG P Aを算出して把握している。学生、保護者へは科目ごとの試験結果及び席次を開示している。

◎成績評価の方法については、入学前ガイダンス（2月）に新入生及び保護者へ公表することとしている。またH Pでも公表している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://berufort.ac.jp/
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

◎卒業の認定は成績評価（すべての科目に合格していること）及び出席状況にて行う。

◎合格に満たない科目がある場合はレポートをもって合格と判断することがある。

◎進級時の単位認定会議において進級を認定し、2年次11月（美容師国家試験受援願書提出時）までに卒業見込認定会議、2月末に卒業認定会議を、校長、全教員出席のもと行っている。

◎成績評価（各科目合格またはレポートが全部提出されていること）及び出席状況（欠課時間はすべて補講が終了していること）を進級、卒業見込、卒業の認定基準としている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://berufort.ac.jp/
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ベルフォート美容専門学校	
設置者名	学校法人まこと学園	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://berufort.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://berufort.ac.jp/
財産目録	https://berufort.ac.jp/
事業報告書	https://berufort.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://berufort.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		昼間	美容科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,010 単位時間／単位	単位時間 780/単位	単位時間 1230/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人		151人	0人	9人	10人	19人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要)
◎教育課程編成委員（外部）、兼任教員を含めた教務会議を実施し、次年度の授業計画について審議している。 ◎シラバスは各担当教員が科目ごとに作成している。 ◎作成した授業計画は全教員で共有し、HP上で公開している。
成績評価の基準・方法
(概要)
◎学科・実技ともに学期ごとに期末試験を実施。単位認定にかかる合格ラインを定め不合格の場合は後日再試験を実施。 ◎各学生の成績の位置づけは試験結果に基づき、学年、科目ごとにGPAを算出して把握している。学生、保護者へは科目ごとの試験結果及び席次を開示している。
卒業・進級の認定基準
(概要)
◎卒業の認定は成績評価（すべての科目に合格していること）及び出席状況にて行う。 ◎合格に満たない科目がある場合はレポートをもって合格と判断することがある。 ◎進級時の単位認定会議において進級を認定し、2年次11月（美容師国家試験受験願書提出時）までに卒業見込認定会議、2月末に卒業認定会議を、校長、全教員出席のもと行っている。 ◎成績評価（各科目合格またはレポートが全部提出されていること）及び出席状況（欠課時間はすべて補講が終了していること）を進級、卒業見込、卒業の認定基準としている。)
学修支援等

概要)

- ◎入学前プレスクーリングの開催や選科によるコース分け、別科（各種検定対策、技術習得等）の開催。
- ◎日本学生支援機構貸与奨学金を利用した入学時0円制度の実施。（入学金等入学前に納入する学費や入学後に学期ごとに請求する学費を入学後に貸与奨学金を利用して2年分の学費を分割納入する方法。）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
68人 (100%)	0人 (0%)	67人 (98.5%)	1人 (1.5%)

(主な就職、業界等)
美容室、アイラッシュサロン、ネイルサロン等の美容業界

(就職指導内容)
サロン経営者や現役美容師による職業理解のための職業講話、就職ガイダンス、インターンシップの実施。美容業に特化した面接指導や履歴書作成指導。

(主な学修成果（資格・検定等）)
・美容師国家試験受験資格（2025年3月国家試験合格率 97%）
・ヘアケアマイスター検定、ネイル検定等。

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
151人	138人	8.6%

(中途退学の主な理由)

人間関係、生活リズムの崩れなどによる心身不振や学習意欲の低下、進路変更など。

(中退防止・中退者支援のための取組)

問題の早期発見に向けて毎日遅刻早退や欠席の状況、人間関係の問題などがないかを全教職員で確認、情報を共有し、状況に応じて、面談や保護者面談を行うようにしている。また定期的な学生面談、保護者面談を実施し、学校生活だけでなく、生活環境の把握にも注力している。

また経済的な支援として、学費納入方法の個別対応を行っている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	120,000 円	420,000 円	885,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://berufort.ac.jp/>

学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)

卒業生、保護者、関係業界、関係団体等の学校関係者などから構成された評価委員会が、「学校運営」「教育活動」「学習成果」「学習支援」等の自己評価の結果に基づいて助言や評価を行い、学校と課題を共有し改善することで、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする。

校長は自己評価結果を教職員に報告、共有し、学校運営や教育活動に反映させる。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
セントラルヘアモード職業訓練会	2年	美容職業訓練校役員
山本株式会社	2年	美容業会社役員

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://berufort.ac.jp/>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://berufort.ac.jp/>